

磐城農業高等学校



1 スクール・ミッション

高校の存在意義

校是「自主」「勤労」「責任」のもと、いわき地区の職業教育推進校として食品流通科、園芸科、緑地土木科、生活科学科を持つ農業科の専門高校

期待される社会的役割

農業教育の拠点校として、高い専門性を身に付けるとともに、命の大切さや思いやりの心、豊かな人間性を育むことにより、自然を愛し、教養豊かで心身ともに健全な人材を育成する学校

目指すべき学校像

農畜産物の生産、加工、商品開発及び販売に携わる学びや福島イノベーション人材育成実践事業※の成果を生かした探究活動を通して、次代を担い、明るい地域社会づくりに貢献する人材を輩出する学校

※ 福島イノベーション人材育成実践事業とは、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のため、高等学校において、大学・企業・自治体との連携や教育環境の整備によって、魅力あるプログラムを開発・実践する県の事業。

2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（卒業までに、このような生徒を育てます。）

- 自然を愛し、命の大切さや思いやりの気持ちを持ち、教養豊かで心身ともに健全な社会人を育てます。
- 正しい使命感と豊かな情操を培い、地域社会の発展に貢献する意欲と態度を育てます。
- 農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、地域の農業を推進し、その発展に寄与できる担い手を育てます。
- 勤労と責任を尊ぶ、自立した人間を育てます。

カリキュラム・ポリシー（高校では、このような教育活動を行います。）

- 基礎基本を重視した学習を行うとともに、学校設定科目を策定して、より深い学びを行います。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組み、課題解決能力の育成を行います。
- 社会の変化に対応しながら、創造的で協働的な特色ある学習を行います。

アドミッション・ポリシー（高校では、このような生徒を求めています。）

- 農業に興味・関心があり、実習等への積極的な参加を通して、就農または農業指導者あるいは関連産業への就職や進学を目指し、意欲的に学校生活に取り組むことが出来る生徒
- 各教科・科目の授業を真剣に受け、自己の学力を伸ばし積極的に各種資格取得を目指すことができる生徒
- 部活動や生徒会活動、農業クラブ活動など自分の個性を伸ばす諸活動に積極的に取り組むことを通して、学校全体の活性化に貢献することができる生徒
- 基本的生活習慣が身に付いており、周囲と協調して学校生活を送ることができる生徒